

生き抜く知恵を身につける

私達の生きている社会や自然環境の中では時に様々な困難が巻き起こります。

社会の中で生きていく大変さや、突然起こる自然災害、自分たちの力で乗り越えていかなくてはいけないことが世の中にはたくさんあります。

何が起こるかわからないこの時代、生きていくうえでつらさを感じたり、壁が立ちはだかってしまったとき、それを乗り越えるための知恵を身につける、みなさんの助けとなる本を集めました。

紹介した本は、新座市の中央図書館、福祉の里図書館、公民館図書室等の分館で借りられます。みなさんどうぞ読んでみてください。

2023.11 NO.9

新座市立図書館

〒352-0011 新座市野火止 1-1-2

☎048 (481) 1115

図書館 HP



モバイル



作成館：福祉の里図書館 / 〒352-0013 新座市新塚 1-4-5 / ☎048 (481) 7070

みどりの町をつくろう



災害をのりこえて 未来をめざす
アラン ドラモンド/さく まつむらゆりこ/やく

みどりの町をつくろう -災害をのりこえて未来をめざす-
アラン ドラモンド/さく まつむらゆりこ/やく 福音館書店 (Eド)

2007年アメリカのグリーンズバーグという町で大きなたつまきによる災害が起こりました。たったの9分でめっちゃめっちゃになった町。しかし町の人たちはそこから様々な工夫をこらした新しい町を作ります。たつまきに強く、夏は涼しく、冬はあたたかく、エネルギーを節約できる家、自然のめぐみをいかす施設、環境を考えた色々な建物。実際に起きた災害を乗り越え、未来を目指して見事に復興した「みどりの町」の取り組みを、ぜひ読んでみてください。



あたしたちのサバイバル教室

高橋桐矢/作 芝生かや/絵 ポプラ社 (913 タ)

クラスでいじめにあっていた小学6年生の未来は、サイトで見つけた夏休み限定のフリースクールに参加することに決めました。そこでは、いじめっ子がいる教室で生き抜くワザをいろいろ教えてくれます。『一番大事なものは、とにかく生きること。逃げろ。無理するな。』サバイバル教室の中で教えてくれる作戦は大人になってからも使えます。つらい事や悲しい事が起きた時、出来そうだなと思えるものに挑戦してみてください。それぞれに合った居場所を見つけたら違う毎日がきっと動き出す、勇気をもらえる本です。



未知なる冒険の書 -自然に学び、地球で遊ぶ 336 の知恵-

名もなき冒険家/文・絵 テディ・キーン/原書編集 葉山亜由美/訳
トゥーヴァージンズ (780 ジ)

ジャングルで一晩過ごすには?身の回りのもので火を起こす方法は?命を救ういざというときの対応は?

この本は大自然の中で使える、生き抜くための知恵を集めた指南書、学んだ知恵は今の生活の中で危機に直面した時にも役立つかもしれません。

美しいイラストと共に描かれ、ページをめくる度に想像力が無限に広がります。この本を読んで、いつか自分の力で未知なる冒険に出かけてみませんか。



生き抜くためのごはんの作り方-悩みに効く 16人のレシピ-

河出書房新社/編 有賀薫/[ほか]著 河出書房新社 (590 イ)

美味しいごはんを食べると心が癒され、体調に合ったごはんを食べると身体が癒されます。ひとの心と身体は「食」に影響されているのです。

この本では心や身体、また様々なシチュエーションにおける悩みを解決する、日々の暮らしを「生き抜いていく」ためのレシピを料理家 16 人がエッセイとともに紹介しています。中学生でも一人で作れるやさしいレシピばかりです。「食べることは生きること」。この本を読んでぜひ「食」の大切さを身近に感じてください。



あきらめなかった男 -大黒屋光太夫の漂流記-

小前亮/作 おとないちあき/絵 静山社 (913 コ)

鎖国時代の日本から北のロシアの孤島に漂着した「神昌丸」の船頭光太夫と船乗りたちの実話をもとにした十年におよぶ大冒険です。

漂着し船を失い、言葉もわからず食べるものも口に合わない、寒さと飢えで仲間が次々に倒れていく…そんな絶望の中でも彼らは希望を失わず、なにより「絶対に日本に帰る」という強い気持ちと、あきらめない精神で困難を乗り越えていきます。

異文化の国で、現実を嘆くだけでなく、新しい事にチャレンジしていく彼らの姿をみて一緒に壮大な冒険を楽しんでみませんか。



少女と少年と海の物語

クリス・ヴィック/著 杉田七重/訳 東京創元社 (933 ビ)

猛烈な嵐に遭い、大海原にひとり手漕ぎボートで漂流していたイギリスの少年ビルは、同じく遭難したベルベル人の少女と出会いました。共有できる片言の言語を持ち寄り、心を通わせる二人。多くを語らない少女が唯一語る物語は、灼熱の太陽や襲い来る飢えや渇きにウミガメを喰らい、サメの影と闘う日々をも忘れ去り、時に少年の生きる糧になりました。自然界の驚異、物語の持つ力、命の尊さを味わえる一冊です。

装画 木原未沙紀/装幀 藤田知子